

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2025年10月20日							
		利用児童数			22名		回収数 20名		
環境・体制整備	1	チェック項目 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	はい 20	どちらともいえない いいえ わからない	明るい印象が良い 整頓された広々としたスペースがあつていい	活動のスペースを保てるように安全面に配慮して気を付けています			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20		いろいろな資格をもっている先生が多い。 いつ伺っても先生が多い	専門職のスタッフを多く配置することで特性を生かしたサービスを提供している			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14 2	4	環境設定がされていると感じる	子ども達や使いやすいよう物の配置を考え整備している			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	3	明るい光が入る教室で良いと思った	清潔感やさわやかな感じの空間を意識した教室づくりにしている			
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20		話をよく聞いて対応してくれる	保護者から情報を聞いて対応している			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20		事前に教えてくれる 天候により変更してくれている	ご連絡くればその都度きちんとお伝えしている			
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20		細かい計画もきちんと説明してくれています	面談等で保護者から聞き取りしカンファを行い作成している			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20		聞き取りもよくしてくれていて、子どもに合わせた内容を設定してくれている	すべての項目を適切に小さな気づき等も大切にしながら作成しています			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20		計画通りおこなってくれている	必要に応じて支援内容を見直している			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	4	工夫してくれている。お任せしている	プログラムのミーティング時に季節に合わせた感じで考えています			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。		3 17	幼稚園に通っているので療育で他の子と活動させてあげたい	幼稚園や保育園、療育センターを併用されているお子様が多い			

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20				説明して頂いている	丁寧に説明させていて頂いてます
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20				以前よりもすごく細かくなっていてもっと簡単にしてくれてもいいのにと思う	しっかり説明しています
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17			3	送迎時に話を聞いてくれたり、連絡したらすぐに対応してくれる	いつでも電話相談できるようにしている
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解がでていると思いますか。	20				仕事があり、なかなか連絡を取りづらいですがメールを活用し連絡が取れるのでいい	すぐに対応できるようにしている
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20				すぐ電話等で連絡頂き、教えてくれる	要望があれば伺いお話するようにしている
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20				どの先生でもわかつてくれて対応している	計画をもとに対応できるように取り組んでいます
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3		11	常に報告してくれているので、今までいい	長期休みなどは放デイのお子さまと交流を持てて楽しいと言ってくれている
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20				詳しく話したい場合は電話で対応してくれて聞いてくれて、とても助かっている	電話でも来所でも訪問でも時間を作って対応しています
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20				対応していただき助かっています	毎日ミーティングして情報交換している
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20				活動の情報はホームページやブログで確認しています	ホームページ・ブログにしたことで保護者が見たい時に見て確認できるようになった
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20				そう思います	契約時にもきちんと説明して納得していただきサインもらう
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20				ホームページにも掲載されているし報告もあります	毎月研修や訓練などを行い、緊急時に対応できるようにしている
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20				報告もしてくれて状況も分かりやすく安心している	定期的に訓練して備えています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20				見学・体験時の直接見て確認できている	研修やミーティング等できちんと支援できるようにしている
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20				はいきちんと説明されます	研修やミーティング等できちんと対応できるようにしている
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20				迎えに来ていただくと、行ってきますと言ってくれるようになった	いつでも見学受け付けて、見ていただけるようにしている
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20				明日行くと自ら準備するようになった	明日も行くね。と喜んでくれていてよかったです
	29	事業所の支援に満足していますか。	20				成長が見られています	何かあれば対応できる体制を整えている

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こばんはうすさくら保土ヶ谷教室（児童発達支援）
------	-------------------------

公表日 2025年10月20日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17		活動に応じて変更しスペース確保している	子供達の様子によってスペース確保することが課題
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17		子どもの状態により、個別対応できるようなスタッフの人数はいる	継続してスタッフ人数はいつでも多く配置できるようにする
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17		季節の行事を行う時、2階の教室を使う際に階段が心配。必ずスタッフが見守り声かけしている	安全安心して階段昇降してもらえるよう子供の目線で考えて配慮していくようにする
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	17		活動前後はしっかり換気している 使ったものは消毒をして片付けている	フィルター等も定期的に掃除し常に清潔に保っている
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	17		対応可能な部屋は使用できる状態になっている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	17		全スタッフが参加出来るような日程でミーティングを組んでいる	小さなことでもスタッフ間で進めていくようになっている
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17		年に一回アンケート実施している 集計し振り返りしている	集計後スタッフで振り返りし改善へ繋げていくようにしている
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17		いつも話が出来る環境にしている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		17	第三者評価は行っていない	外部評価はしていないが、本部での評価調査がある
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17		研修の日程を組んで必要な内容を研修している	まとまった研修時間の確保が出来るようにしていきたい

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	17	作成しホームページに載せているが、日々の子どもの様子で変更している	季節に応じた行事でも変化させていく
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	17	子どもと保護者の聞き取りを十分に行い、スタッフを交えて分析している	どのように分析していくか日々勉強していく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	17	スタッフでカンファを行い検討している	スタッフと共に検討しそれを踏まえて作成している
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17	スタッフで共有している事なので同じように行なうに共有できている	認識の違いが出ないように計画に沿った内容を共有できるようにしている
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	17	連絡帳などを用いたり、申し送りで状況の確認をしている	日々の申し送りが一人一人詳しく行っていると時間がかかってしまう
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	17	視点を把握したうえで本人に合った計画がなされている	本人に沿った計画で支援されるようにスタッフも支援している
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17	スタッフ同士で案を出し決めている	検討する時間を確保している
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	17	いろいろな観点からみてスタッフと案を出し決めている	固定化しないように色々考えていきたい
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	17	子どもの状況を見て、活動できることを組み合わせている	日々どちらの活動にしようか検討し支援していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	必ず行い確認している	少しの間でも常に情報共有しようと思い確認している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17	必ず業務連絡と同様に振り返りを行っている	次の日へのフィードバックを必ずするようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17	個々に日々活動における記録はとっている	日々の記録や特記をみて今後の支援について検討している
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	17	定期的に行っている	定期的に行っていて適切に見直している

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17	参加している　日々の記録で様子が分かるようになっている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	17	月1回は情報共有している	今後も継続していけるようにしていく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17	必要に応じて連絡を取り情報共有している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17	就学移行が近くなると、区役所や学校などでカンファに参加している	参加した内容をもっとわかりやすく伝えたい
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	17		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	17		
	30	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	17		
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	17	共通の利用されているお友達の対応について常に連携をとり対応している	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	17	幼稚園や保育園と併用利用している子がほとんどなので交流もとれていると思う	散策などで行く際は他の子供との交流も出来ているが、一緒に活動の企画はなかなか難しい状況
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17	送迎時や電話で伝え、今の状況やこれからのお話をしている	保護者にも些細な事でも教えてくださいと常に話している
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	17	支援の方法について聞かれることも多く、その都度お伝えしている	こちらでの対応の仕方をできる限りお伝えしていく
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17	時間を設けて説明している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17	初回やアセスメントの際などしっかり聞き取りを行い、意向を含めて確認している	利用時にもおこさまに意思を聞いて、確認している
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	17	しっかり理解されるまで説明をし、同意を得ている	説明の上、計画にサインを頂いている
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	17	誰でも答えられるように、常に対応できるようにしている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	保護者会などはないが、送迎時にはきょうだいにあってお話することもある	常に支援する方向で考えている
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17	そのように対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	17	お手紙などでイベント知らせている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	17	鍵付き書庫で保管している	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17	言葉で分かりにくい場合はボードやカードを使い視覚から入りやすいようにしている	子供に応じた対応を考えている
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	外を歩いたりする際ご挨拶したりしている	

非常時等の対応	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	17		日程を決めて研修や訓練をしている	
	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	17		日程を決めて、行っている	
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	17		事前に情報を聞き取り、スタッフ間で周知している	
	48 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17		対応する案件は今のところない	アレルギーのあるお子様の場合、対応がとれるようにしている
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	17		日程を決めて、研修や訓練を行っている。	スタッフにしっかり周知していく
	50 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	17		説明もその都度行っている	送迎時などで保護者に伝えられるようにしている
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	17		毎回のミーティング時に振り返りを行っている	どのような内容があるのかが分かるようにしている
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	17		研修を設け行っている	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	17		今までにないが、口頭では説明させていただいている	